

変更の事由及び時期を記載した書類

1. 名称変更の内容

[現在の名称]

心身科学部

英訳名 Faculty of Psychological
and Physical Science

健康科学科

英訳名 Department of Health
Science

健康栄養学科

英訳名 Department of Nutritional
Science

[変更後の名称]

健康科学部

英訳名 Faculty of Health Science

健康科学科

英訳名 Department of Health
Science

健康栄養学科

英訳名 Department of Nutritional
Science

2. 名称変更の理由

心身科学部は、2003（平成 15）年に文学部から「心理学科」が独立する形で心身科学部心理学科として誕生した。翌 2004（平成 16）年には「健康科学科」、2008（平成 20）年には「健康栄養学科」が増設され、現在の 3 学科体制となった。心身科学部は全ての国民が WHO 憲章の健康の定義に基づく「身体的にも心理的にも社会的にも完全に良好な状態」で生活する活力ある社会形成に貢献することを目的として設立された。心身の健康について総合的に研究し、生活習慣病や社会的ストレスを中心とした疾病の発症予防に関する研究を推進してきた。教育については設立当初より時代に即したカリキュラム変更を実践し、健康を推進するため社会で求められる即戦力となりうる人材を育成してきた。その結果、各々の学科において医療福祉教育に関わる専門資格職を持つ人材を数多く輩出し、社会からの評価を得てきた。

資格職とは以下のものである。

- ① 心理学科（公認心理師、臨床心理士、特別支援学校教諭 等）
- ② 健康科学科（保健体育教諭、健康運動指導士、言語聴覚士、養護教諭 等）
- ③ 健康栄養学科（管理栄養士、栄養士、栄養教諭 等）

さて、大学における教育研究活動は社会の要請に応じて柔軟に対応することが必要で

あることは言うまでもない。近年のグローバル化、IT化に対応するべく心身科学部心理学科は従来の「心理学実践分野（含公認心理師コース）」以外に「多文化・共生分野」、「情報・ビジネス分野」の3分野から構成される心理学部として改組転換することを決定し、2021（令和3）年4月に文部科学省へ設置届出申請を提出し、2022（令和4）年4月より新たに「心理学部心理学科」として開設することが決定した。

他方、従来の心身科学部においては、2022（令和4）年度からは「健康科学科」と「健康栄養学科」の2学科による教育研究体制を継続・展開していくこととしているが、組織的かつ強力に発展させていくため、2023（令和5）年度より学部の名称を「心身科学部」から「健康科学部」に変更することを予定する。

学部名称変更の目的は、近年の我が国の社会構造の変容、特に超高齢社会の到来に対応した教育研究活動を発展させ、時代が要請する有為な人材を輩出するためにより相応しい名称とすること、これからの社会を切り拓いていく本学部を志望する高校生にとって本学部の内容をより理解しやすい学部名称とすることである。

我が国における高齢者人口の急激な増加は、老化に伴う身体及び精神機能の低下の結果としての虚弱（フレイル）高齢者の問題を引き起こした。フレイル高齢者問題を解決することで、活力ある社会を実現することは21世紀の日本における最大のチャレンジと言って良い。今後、これらの社会問題に対して解決策を見出せる人材育成が求められていることは明らかである。

近年、運動、栄養、睡眠といった生活習慣、及び環境整備がフレイルの発症、進行を遅延させることを示すエビデンスが次々と報告されている。特に注目を集めている戦略は先制医療(Preemptive Medicine)である。先制医療とは発症前リスク診断を受けた地域住民に対し、個人の病態に合わせた介入を行い、疾患の発症を防ぐという新しい医療のパラダイムである。従来の予防医療と異なり、集団ではなく個人に対する「未病」段階での介入を行うことが特徴である。先制医療の実践には、幼少時及び若年期における養護教諭、栄養教諭、保健体育教諭による健康教育に始まり、成人期における運動、栄養を中心とした生活指導、さらに主に高齢障害者を対象とした医療福祉機関における咀嚼嚥下、言語リハビリテーションを含む運動学的、神経心理学的、栄養学的介入を切れ目なく行うことが求められる。

心身科学部健康科学科及び健康栄養学科の両学科においては、医師のみならず、歯科医師、看護師、健康運動指導士、言語聴覚士、管理栄養士、といった多職種連携に必要な各分野の専門家が学部構成員となっている。従来の医療の枠に囚われない研究教育活動を推進することでフレイルに関わる医療社会問題を解決するための最先端の研究を行うとともに、当該分野において活躍する実践能力を持つ社会人を育成することで社会に貢献していくことは、学部名称変更後の健康科学部においても不変のものであり、社会を切り拓いていく本学部を志望する高校生にとって本学部の内容をより理解しやすい学部名称である。

以上、心身科学部（健康科学科、健康栄養学科）の健康科学部（健康科学科、健康栄養学科）への名称変更を行うことは、社会情勢に即した学部的发展において必須と考えられる。また、本学部の教育研究内容は愛知学院大学の理念である「行学一体、報恩感謝」にまさに合致するものであることを申し添える。

3. 名称変更の時期

令和5年4月1日

4. 新名称の対象年次

1年次入学者より適用